

撮影コーナーについて

シセイカルテはiPad1枚あればどこでも手軽に撮影・分析いただけることを強みとしておりますが、より正確な分析のための注意点を紹介します。

- 撮影距離を一定に保つ&平行を保つための撮影コーナーを作成しましょう

:テープなどで以下をマークし、撮影コーナーを作りましょう(詳細次ページ)

①被撮影者の立ち位置

②撮影時の平行確認の目安にする線

③:②と④が平行であることを確認する線

:②と④に対して直角に引きましょう。この長さを2~2.5Mに設定いただくと、

撮影画面の白枠に人が収まりやすいです

④撮影者の立ち位置



撮影コーナーについて

①被撮影者の立ち位置

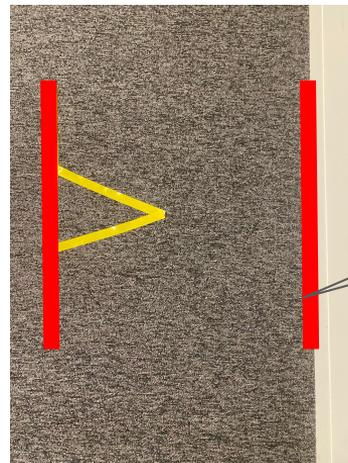
- 立位正面撮影時のつま先の開き具合を一定にできるように、V字を作りましょう
- 撮影時は踵をVの先端に合わせてもらうように声かけしましょう



立位正面の撮影時は、
踵を合わせるように声か
けましょう

②撮影時の平行確認のためのマーク

- 撮影コーナー背後に壁があれば、壁と平行を意識すると作成しやすいです
- 撮影時の平行の目安にするため、V字に対して長めに引くと見やすいです



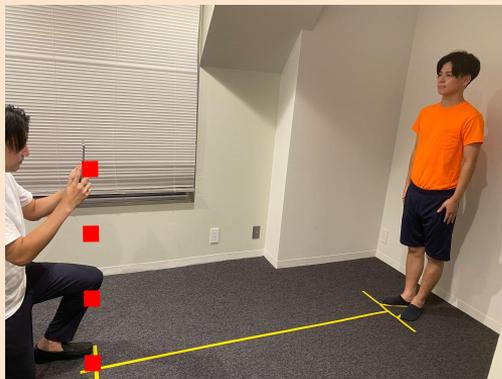
背後に壁がある場合は
壁との平行を意識しま
しょう

撮影コーナーについて

④撮影者の立ち位置

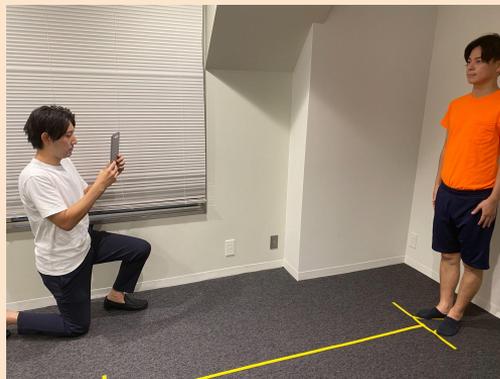
- 撮影時、③と交差する十字の真上に、タブレットのカメラが来るよう意識しましょう
- この位置が定まらないと、斜めからの撮影となってしまう精度にブレが生じます

良い例



十字の真上にカメラが来るようにすると、真正面から撮影でき、撮影画面中央の黄色線と、②の線が平行になります

悪い例



撮影位置を意識せず斜めからの撮影になってしまうと、撮影画面中央の黄色線と、②の線が平行になりません

その他撮影時の注意

- **タブレットが被撮影者に対して平行になるように立てることを意識しましょう**
 - 撮影者は、片膝を立てる体勢が安定しやすくおすすめです
 - 撮影者が立ったままだとタブレットが下に傾きやすいのでご注意ください
- **被撮影者の条件(服装・マスク有無)をなるべく一定に保つ**
 - ダボっとした服装より、体のラインが出る服装の方がおすすめです
 - シャツをズボンにインいただいた方が腰回りのポイントがより正確に取れます
- **普段通りの姿勢になるようしっかり声かけをする**
 - 「踵はV字の先端に合わせてしっかりつけて、楽な姿勢で立ってください」
 - 「リラックスした姿勢をお願いします」「一度深呼吸しましょう」
 - いい姿勢を取ろうと緊張される方がいる